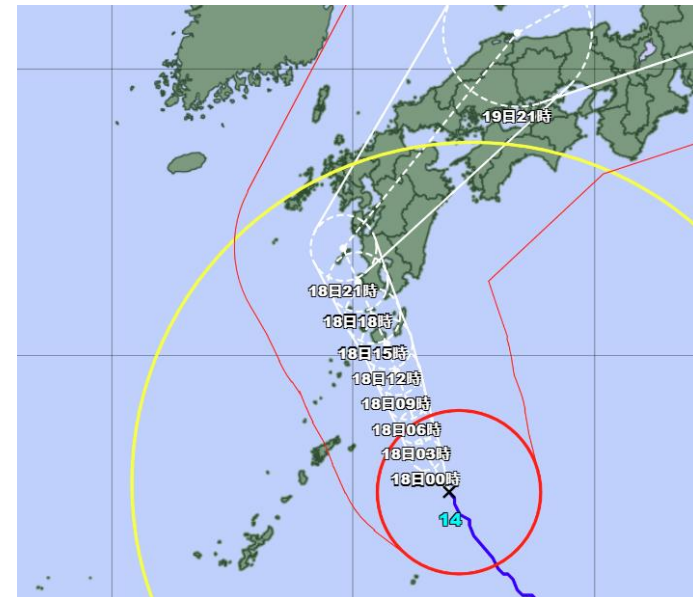


鹿児島県に 暴風、波浪、高潮特別警報発表

- 大型で猛烈な台風第14号は、18日午後にかけて鹿児島県に最も接近する見込み
- 経験したことのないような暴風、高波、高潮のおそれ、最大級の警戒を！
- 記録的な大雨のおそれ、大雨特別警報を発表する可能性

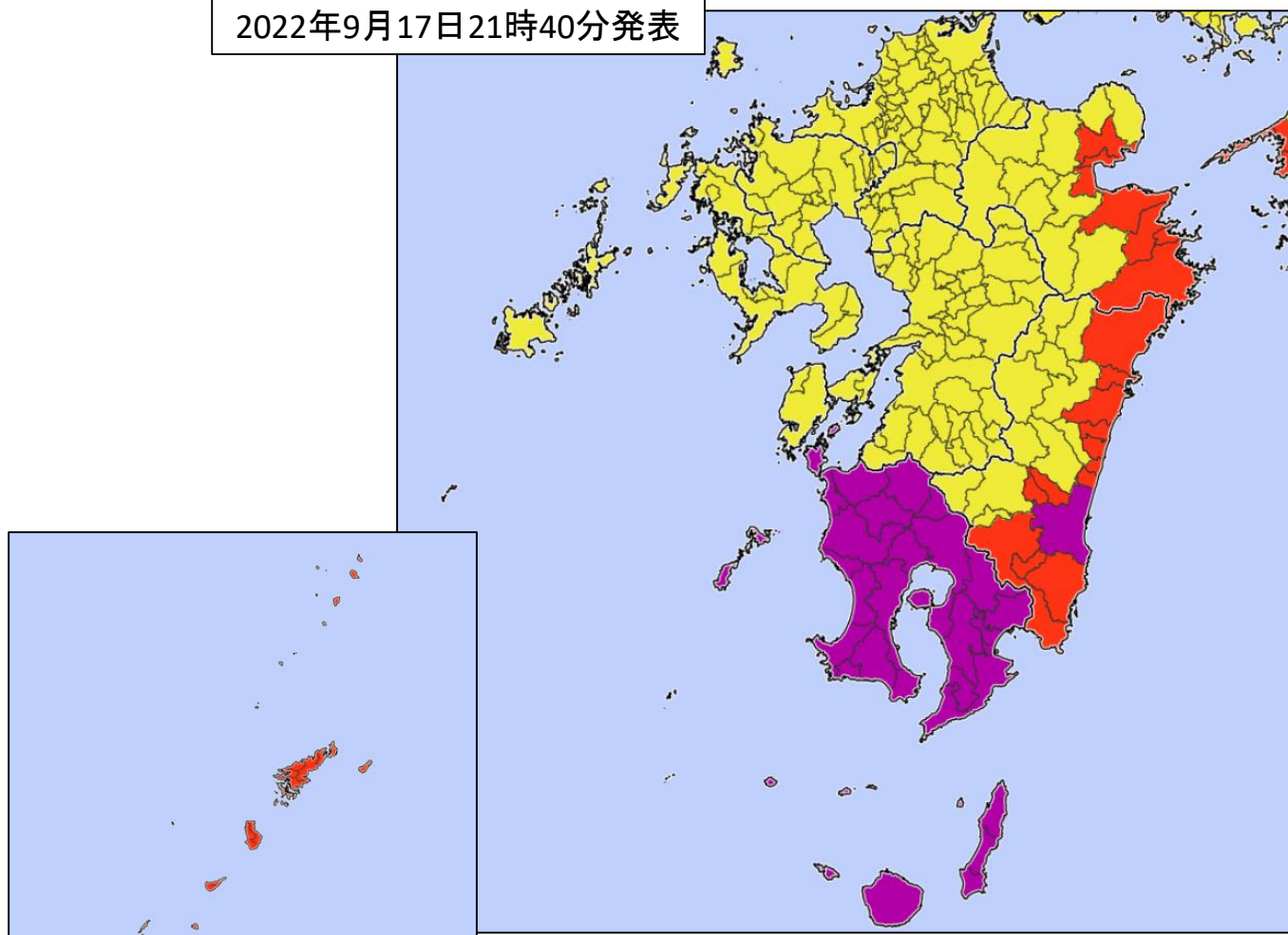
令和4年9月17日21時



今後、九州北部地方にも暴風、波浪、高潮特別警報を、
大分県、宮崎県でも大雨特別警報を発表する可能性

特別警報・警報の発表状況

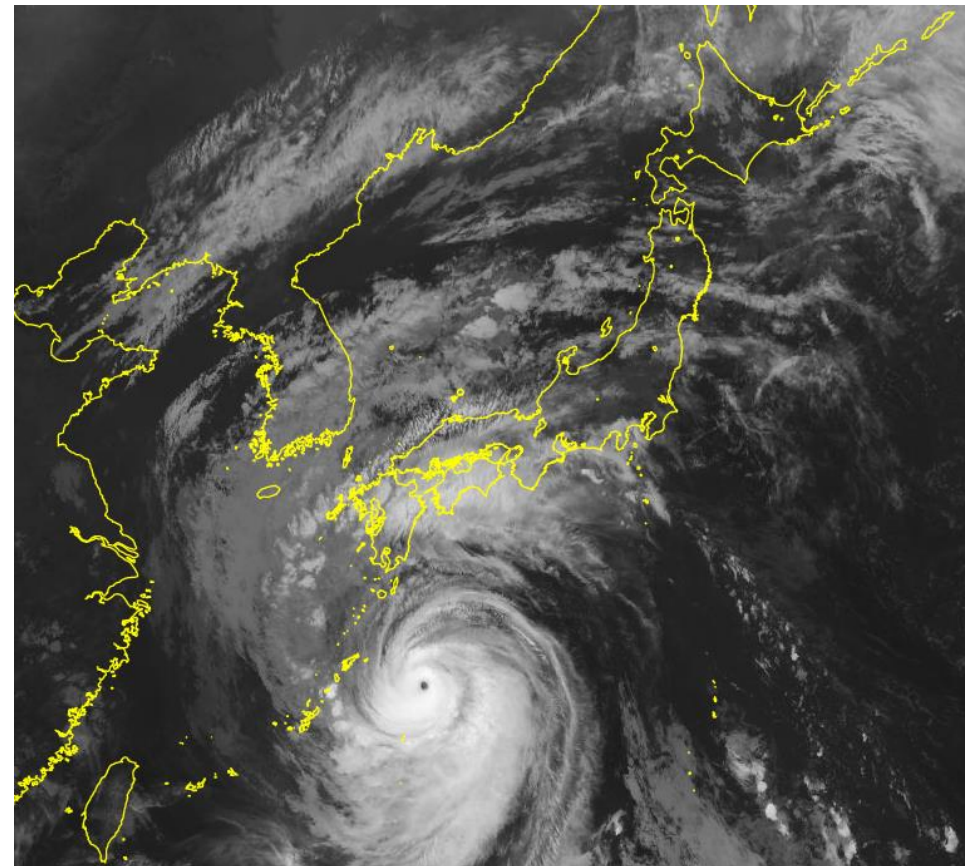
2022年9月17日21時40分発表



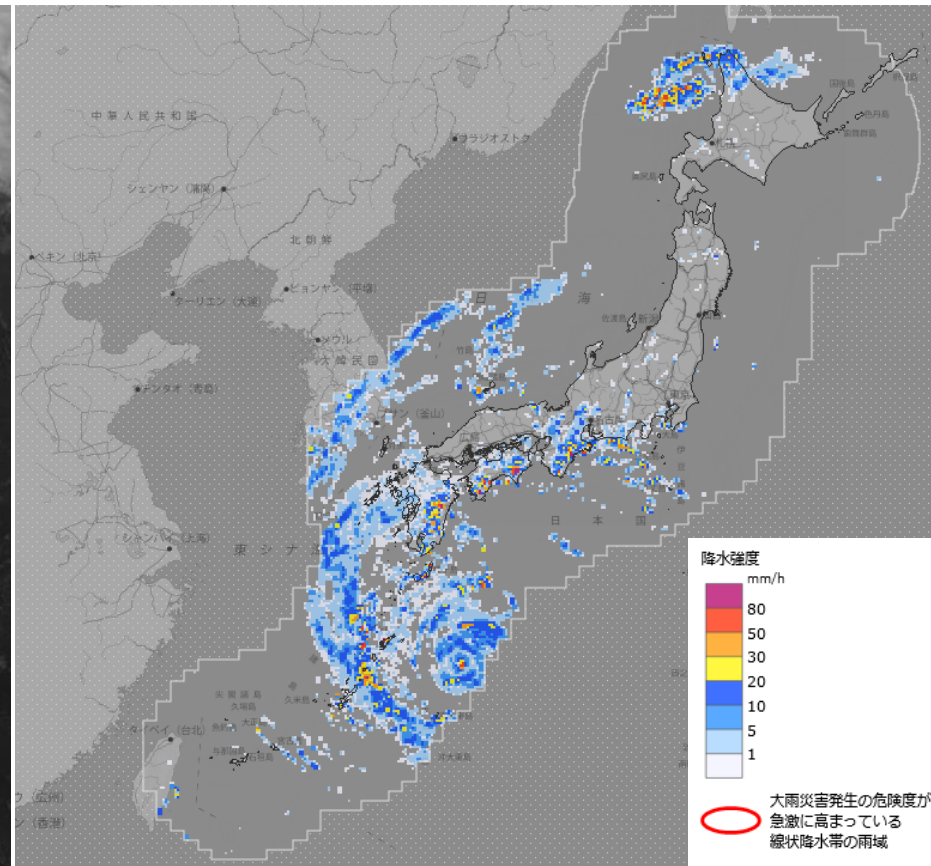
特別警報・警報が発表されている市町村内のどこで災害発生の危険度が高まっているかを「キキクル（危険度分布）」で確認してください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

衛星画像(赤外)・レーダー



衛星画像(赤外)
(9月17日21時)



雨雲の動き
(9月17日21時)

地図出典：地理院タイル（加工して利用）等
© Japan Meteorological Agency 2020

台風の見通し

台風情報
(17日21時)

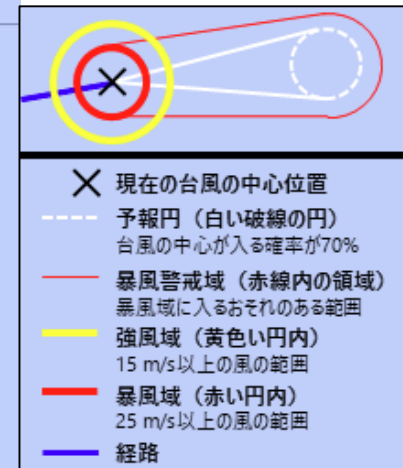
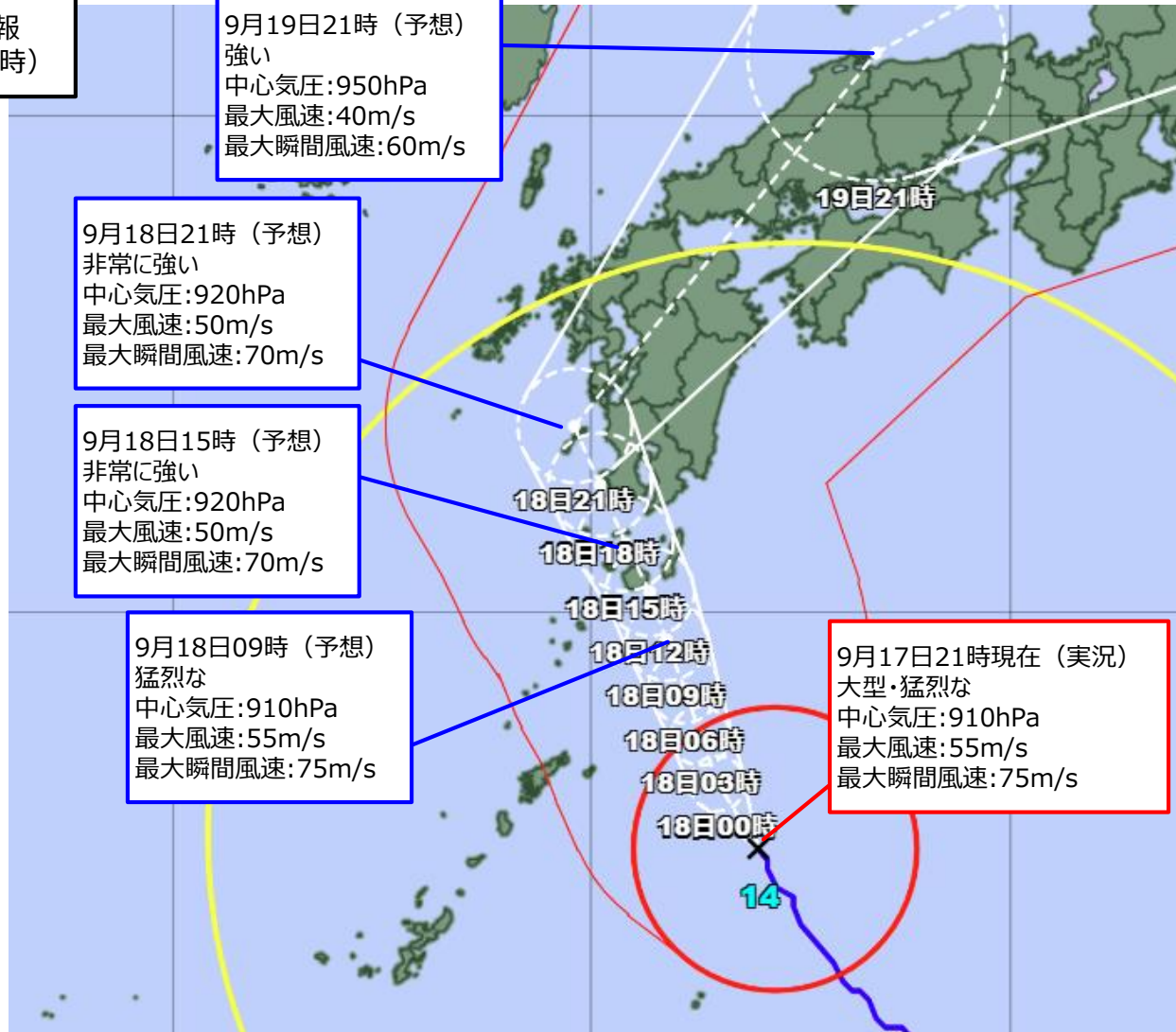
9月19日21時 (予想)
強い
中心気圧:950hPa
最大風速:40m/s
最大瞬間風速:60m/s

9月18日21時 (予想)
非常に強い
中心気圧:920hPa
最大風速:50m/s
最大瞬間風速:70m/s

9月18日15時 (予想)
非常に強い
中心気圧:920hPa
最大風速:50m/s
最大瞬間風速:70m/s

9月18日09時 (予想)
猛烈な
中心気圧:910hPa
最大風速:55m/s
最大瞬間風速:75m/s

9月17日21時現在 (実況)
大型・猛烈な
中心気圧:910hPa
最大風速:55m/s
最大瞬間風速:75m/s



今後の予想を含めた最新の情報は各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(台風情報: <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>)

暴風・波浪の警報級となる可能性のある期間

■ 特別警報

■ 警報の可能性が高い ■ 警報の可能性がある

	暴風の早期注意情報					波浪の早期注意情報			
	17日	18日	19日	20日		17日	18日	19日	20日
	18-06	06-24				18-06	06-24		
山口県					山口県				
福岡県					福岡県				
佐賀県					佐賀県				
長崎県					長崎県				
熊本県					熊本県				
大分県					大分県				
宮崎県					宮崎県				
鹿児島県 (奄美地方除く)					鹿児島県 (奄美地方除く)				
奄美地方					奄美地方				

高潮の警報級となる可能性のある期間

■ 特別警報

■ 警報の可能性が高い ■ 警報の可能性がある

	高潮の早期注意情報			
	17日	18日	19日	20日
	18-06	06-24		
山口県				
福岡県				
佐賀県				
長崎県				
熊本県				
大分県				
宮崎県				
鹿児島県 (奄美地方除く)				
奄美地方				

大雨の警報級となる可能性のある期間

■ 警報の可能性が高い ■ 警報の可能性がある

	大雨の早期注意情報			
	17日	18日	19日	20日
	18-06	06-24		
山口県		■	■	
福岡県		■	■	
佐賀県		■	■	
長崎県		■	■	
熊本県	■	■	■	
大分県	■	■	■	
宮崎県	■	■	■	■
鹿児島県 (奄美地方除く)	■	■	■	
奄美地方	■	■		

今後の見通し

【暴風・高波の見通し】 (単位(風):メートル毎秒 (波):メートル)

地域	18日		19日	
	最大風速 (最大瞬間風速)	波の高さ	最大風速 (最大瞬間風速)	波の高さ
山口県	23 (35)	6	30から40 (40から60)	6
福岡県	30 (45)	6	40から50 (55から70)	7
佐賀県	40 (60)	6	40から50 (55から70)	7
長崎県	40 (60)	7	40から50 (55から70)	8
熊本県	50 (70)	7	40から50 (55から70)	8
大分県	25 (35)	12	30から40 (40から60)	12
宮崎県	40 (60)	12	25から29 (35から45)	11
鹿児島県 (奄美地方除く)	55 (75)	13	25から29 (35から45)	10
奄美地方	55 (75)	12	15から19 (20から30)	8

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象情報: <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)

今後の見通し

【大雨の見通し】（単位：ミリメートル）

地域	18日18時までの 24時間雨量	19日18時までの 24時間雨量
山口県	50	200-300
福岡県	80	200-300
佐賀県	50	200-300
長崎県	150	200-300
熊本県	300	300-400
大分県	250	200-300
宮崎県	500	300-400
鹿児島県 (奄美地方除く)	500	300-400
奄美地方	300	100-150

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象情報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)

関連資料の掲載場所

※アイコンをクリックすると気象庁HPが表示されます。



気象庁防災情報
Twitter

[@JMA_bousai](https://twitter.com/JMA_bousai)

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。



気象庁
YouTube

気象庁の公式チャンネルです。緊急記者会見の様などをお届けします。最新の防災気象情報については、気象庁ホームページやツイッターをご覧ください。



土砂災害警戒情報



台風情報



天気図



降り始めからの総雨量

- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf
- 新型コロナウイルス感染症が収束しない中での避難について（内閣府（防災担当）・消防庁）
<http://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf>

(参考) 暴風による災害への備え

- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

〇〇市		今後の推移 (■警報級 ■注意報級)										備考・ 関連する現象	
発表中の 警報・注意報等の種別		〇〇日							〇〇日				
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6			
暴風	陸上	3	10	15	20	25	20	13	10	10	以後も注意報級		
	海上	10	12	20	25	35	30	15	10	10			

暴風警報

陸上では昼過ぎから
風速20メートル

家の外の備え

雨戸や網戸を固定する
窓や雨戸はしっかりと
力を入れて、必要に応じて補
強しましょう

側溝や排水口を掃除する
ごみが詰まっていると水
があふれてしまいます

屋外のをを家の中にしまう
物干し竿や植木鉢などの風で飛
ばされそうなものは家の中へし
まいましょう

自動車のガソリンを
満タンにする

庭木やプロパンガス、テレビ
アンテナがしっかり固定さ
れているか確認しましょう

平均風速 (m/s) おおよその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の 様子	建造物	おおよその 瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまっていられ ないと立ってられない。 飛来物によって負傷す るおそれがある。		屋根瓦・屋根葺材が 飛散するものがある。固 定されていないプレハブ 小屋が移動、転倒する。	30
25~30 ~約110km/h		細い木の幹が折れたり、 根の張っていない木が 倒れ始める。看板が落 下・飛散する。道路標 識が傾く。	養生の不十分な仮設 足場が崩落する。	40
30~35 ~約125km/h				

35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転 する。		外装材が広範囲にわ たって飛散する。	50
40~ 約140km/h~		多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるも のがある。ブロック壁で倒 壊するものがある。	住家で倒壊するものが ある。鉄骨構造物で変 形するものがある。	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。
 ※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。
 ※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html)

(参考) 近年の主な暴風による災害

平成30年台風第21号

- 大阪府田尻町関空島（関西空港）では最大風速46.5メートル、最大瞬間風速58.1メートルを観測。
↓
- 死者14人、負傷者980人、住家全壊68棟、半壊833棟、一部損壊97,009棟等の被害が発生。
※総務省消防庁とりまとめ（令和元年8月20日現在）
- タンカーが走錨し、関西国際空港連絡橋に衝突したことにより、空港へのアクセスが制限されるなど、人流・物流等に甚大な影響が発生。
※荒天時の走錨等に起因する事故の再発防止に係る有識者検討会 報告書（平成31年3月）
- 近畿地方を中心に最大停電戸数約224.7万軒の大規模停電が発生した。
※台風21号による停電について（第56報）関西電力（平成30年9月10日）

令和元年房総半島台風

- 千葉県千葉市では最大風速35.9メートル、最大瞬間風速57.5メートルを観測。
↓
- 千葉県を中心に、住家全壊391棟、半壊4,204棟、一部損壊72,279棟等の被害が発生。
※総務省消防庁とりまとめ（令和元年12月23日現在）
- 鉄塔2基の倒壊、1,996本の電柱が倒壊・損傷により、千葉県を中心に最大停電戸数約93.5万軒の大規模停電が発生した。
※令和元年台風15号における鉄塔及び電柱の損壊事故調査検討ワーキンググループ＜中間報告書＞（令和2年1月21日）



令和元年房総半島台風
（経済産業省提供資料）



平成30年台風第21号
（海上保安レポート2019より）

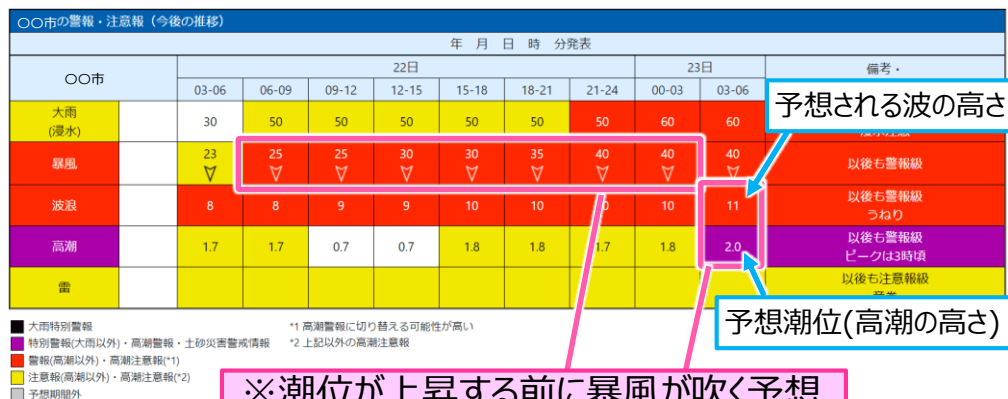


令和元年房総半島台風
（気象庁職員撮影）

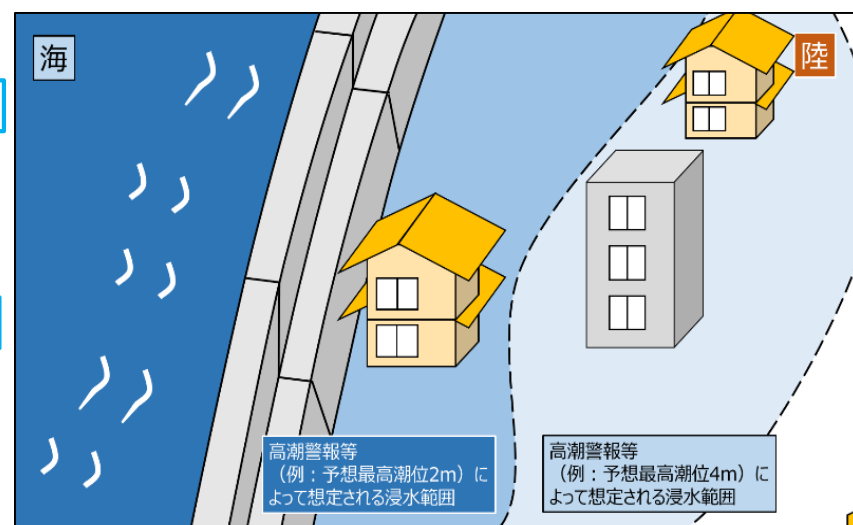
(参考) 高波・高潮による災害への備え

- 台風の接近に伴い、沿岸では命に危険を及ぼすような高波や高潮のおそれがあります。特に、高潮で潮位が高くなっている時は、普段は波が来ないようなところまで波が押し寄せる事があります。むやみに海岸には近付かないください。
- 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。
- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。

波浪・高潮注意報等で今後の推移について確認



高潮時に浸水のおそれがある区域



高波や高潮による災害の事例



(参考) 過去の主な高潮による災害

伊勢湾台風 (昭和34年)

- 伊良湖(愛知県渥美町)では最大風速45.4メートル、最大瞬間風速55.3メートルを観測。名古屋港では潮位389cmを観測。
- 死者4,697名、行方不明者401名、負傷者38,921名、住家全壊40,838棟、半壊113,052棟、床上浸水157,858棟、床下浸水205,753棟等の被害が発生。 ※消防白書より
- 紀伊半島沿岸一帯と伊勢湾沿岸では高潮、強風、河川の氾濫により甚大な被害を受け、特に愛知県では、名古屋市や弥富町、知多半島で激しい暴風雨の下、高潮により短時間のうちに大規模な浸水、三重県では桑名市などで同様に高潮の被害を受けた。

平成11年 (1999年) 台風第18号

- 牛深(熊本県牛深市)では最大風速27.7メートル、最大瞬間風速66.2メートルを観測。大浦(佐賀県)では潮位301cmを観測。
- 死者31名、負傷者1,218名、住家全壊338棟、半壊3,629棟、床上浸水4,895棟、床下浸水14,755棟等の被害が発生。 ※消防白書より
- 九州北部地方や中国地方瀬戸内海沿岸では、台風が通過時に著しい高潮となり、熊本県不知火町では高潮により12名が死亡した。



伊勢湾台風

(出典：国土交通省木曽川下流工事事務所『自然と人のかかわり－伊勢湾台風から40年－』)



平成11年 (1999年) 台風第18号

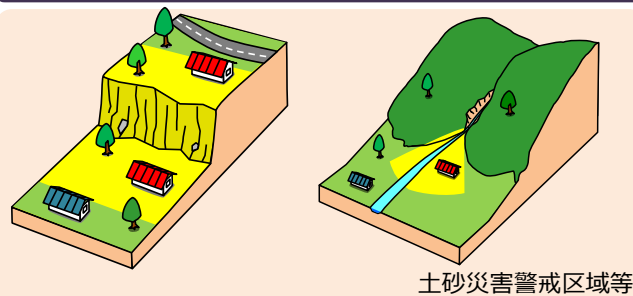
(出典：建設省九州地方建設局)

(参考) 大雨による災害への備え

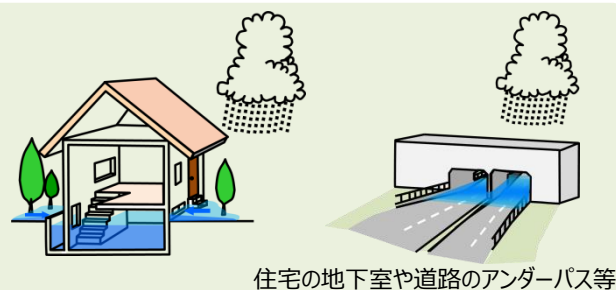
- ハザードマップ等により、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命に危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認しましょう。
- 土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度がどこで高まる予測となっているかを「キキクル（危険度分布）」の地図で確認することができます。
- 大雨により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

命に危険が及ぶおそれがある場所

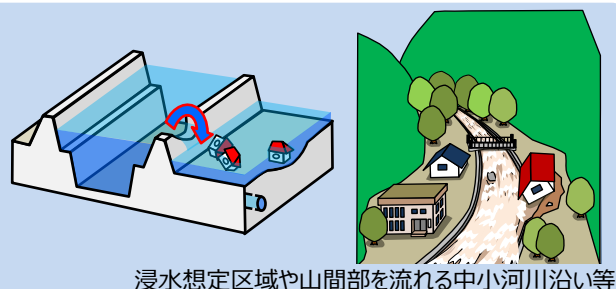
土砂災害



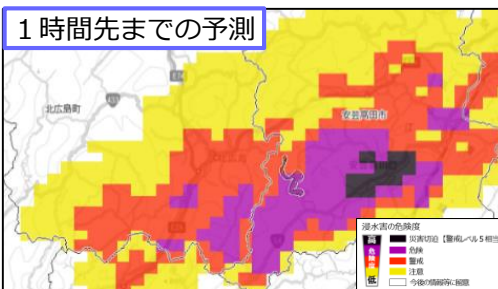
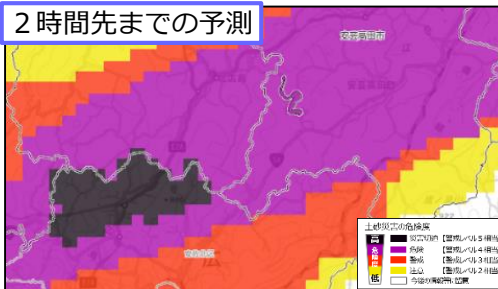
浸水害



洪水災害



キキクル（危険度分布）



災害の例



(参考) 大雨による災害の留意事項①

大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生！

崖崩れや土石流の発生を確認してから避難することはできない。



平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要！

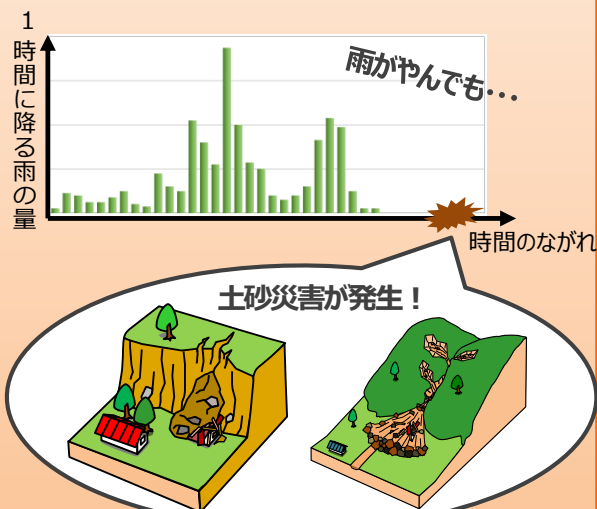


(参考) 大雨による災害の留意事項②

大雨がやんでも…

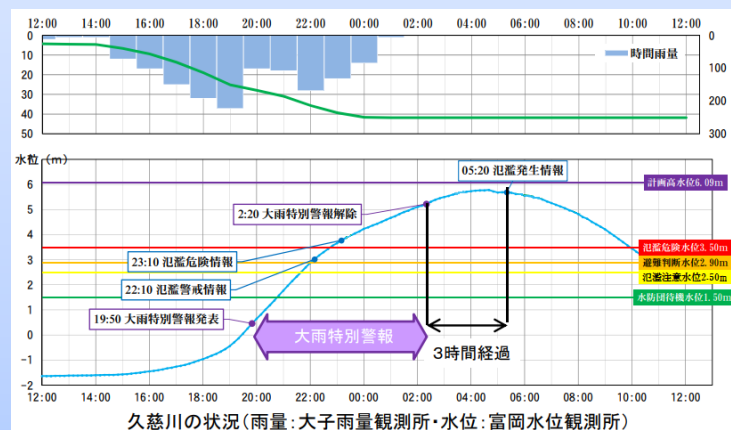
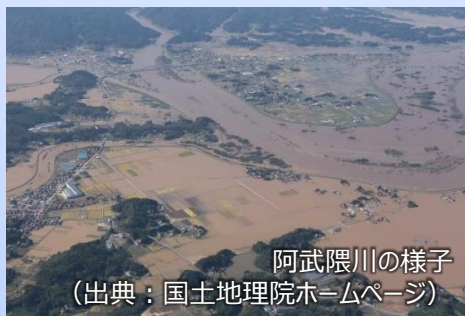
土砂災害の危険が継続！

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。



油断禁物！ 大河川は時間差で増水

大河川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展：「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越辺川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切！

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



(参考) 突風や雷による災害への備え

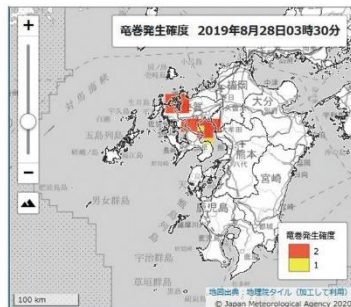
- 台風から離れた地域でも、竜巻などの激しい突風や落雷に注意が必要。
- 竜巻発生確度ナウキャストや雷ナウキャストなどの防災気象情報を活用し、発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には身を守るための行動を。



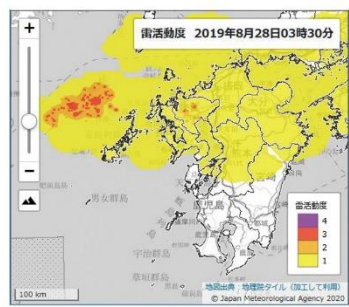
日本版改良藤田スケールにおける階級と風速の関係
～竜巻等の激しい突風によって起こり得る被害～

階級	風速 (3秒平均)	主な被害の状況(参考)
JEF0	25～38m/s	- 物置が横転する。 - 自動販売機が横転する。 - 樹木の枝が折れる。
JEF1	39～52m/s	- 木造の住宅の粘土瓦が比較的広い範囲で浮き上がったりはく離れたりする。 - 軽自動車や普通自動車が横転する。 - 針葉樹の幹が折損する。
JEF2	53～66m/s	- 木造の住宅の小屋組(屋根の骨組み)が破損したり飛散したりする。 - ワンボックスの普通自動車や大型自動車が横転する。 - 鉄筋コンクリート製の電柱が折損する。 - 墓石が転倒する。 - 広葉樹の幹が折損する。
JEF3	67～80m/s	- 木造の住宅が倒壊する。 - アスファルトがはく離れたり飛散したりする。
JEF4	81～94m/s	工場や倉庫の大規模な庇の屋根ふき材がはく離れたり脱落したりする。
JEF5	95m/s～	低層鉄骨系プレハブ住宅が著しく変形したり倒壊したりする。

竜巻発生確度ナウキャスト



雷ナウキャスト



(参考) 5段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒 レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報	キキクル (危険度分布)	相当する 警戒 レベル
5	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	大雨 特別警報	災害切迫 氾濫 発生情報	5 相当
<警戒レベル4までに必ず避難！>					
4	・危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	土砂災害 警戒情報 高潮 警報 高潮 特別警報	危険 氾濫 危険情報	4 相当
3	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	※ 大雨警報 洪水警報 高潮警報に切り替える可能性が高い 注意報	警戒 氾濫 警戒情報	3 相当
2	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報 大雨注意報 洪水注意報 高潮 注意報	注意 氾濫 注意情報	2 相当
1	災害への心構えを高める ・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認		早期注意情報 (警報級の可能性)		

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。